

第 1 部

「夏のアλπス・オートルート 11 日間」を 7 月 18 日～7 月 28 日に行いました。オートルートはシャモニからツェルマットに至る山岳ルートで、山スキーで有名ですが夏のルートも整備されています。(冬ルートとの違いはアローラから大きく北へ迂回)。巷の噂で今年の 7 月は 30 年で 1, 2 を争う悪天気との事。そんな中、ルーの コル (2804m)、リドゥマッテンのコル (2919m)、トランのコル (2916m)、マイドパス (2790m)、オウガストボードパス (2894m) と 5 峠を越えツェルマット迄走破しました。



(ラックブラン 7/19 日)

○ラックブラン

シャモニは本隊到着前の 3 日間 超快晴で一抹の不安が…。トレック出発の朝も快晴でしたが次第に下降気味に。ラックブランではモンブランの山頂こそ隠れたもののグランドジョラス他の山々が私達を熱烈歓迎。ロッジの夕食は熱々スープにチーズを入れて食べるご機嫌な郷土料理。翌日、コルデモンテの下りに差し掛った所で辺が急に暗くなり、この地方にしては珍しい大粒の本降りに。そんな中、この時期は既に散って無いアルペンローゼの花が何故か満開で心を和ませてくれました。



(モンブラン 7/18 日)



○プラフルーリ

今日はコース最深部のデイス小屋へ。昨日の雨は標高 2800m 以上で雪だったのかうっすら山肌に白い色が。出発時は薄日が差し、ルーのコルでは重たげな雲間にモンブランシェイロン始め雄大な山並みが見え隠れ、その後霧と雨中に没。モレーンを登りデイス小屋手前のピークに辿り着いた時にエーデルワイスを発見！エーデルワイスとはドイツ語で高貴な白い花と言うそうですが、昔は呼吸器疾患の薬草だったとか。これって漢方ですネ！



(こけマンテマ 7/21 日)



(エーデルワイス 7/21 日)

○デイス

今日はシェイロン氷河を横断するハイライトの日。ところが昨夜来の雨は止むことを知らず、霧も出て最悪のコンディション。一縷の望みを託し氷河へ踏み込むも天気は相変わらず。氷河の氷は雨に洗われ何時もより青みがかり、氷上を流れる川は水嵩を増して急流に。時折聞こえる崩落の音は雷と間違えそうに霧中に響き、沈みゆく気持ちの気付け薬になりました。まあ、30年振りの天気では仕方有りませんネ！



(シェイロン氷河横断 7/22 日)



次回はレ・ゾデルからツェルマツト迄をお届けします。

記 天溪 赤沼